

「アートコミュニティ交流会」及び 「連続講座：アートで変わる暮らしのシナリオ」を開催します！

川崎市は、神奈川県立保健福祉大学※（川崎区）及び川崎市アートセンター（麻生区）と連携し、2025年12月14日に、「演劇」「健康」「幸福」をキーワードとしたトークセッション及び演劇体験ワークショップを行う「アートコミュニティ交流会～演劇×健康!?アートとウェルビーイングの新しい可能性～」を開催します。また、2026年1月から、全10回の講座でオリジナル脚本による演劇作品づくりを行う「連続講座：アートで変わる暮らしのシナリオ」のプログラムがスタートします。（※神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（川崎区殿町））

本市では、誰もが身近に文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向け、「アート・フォー・オールプラットフォーム」（総合的にアート活動が活性化され、多様な市民がアートへアクセスしやすくなる仕組み）の構築を進めています。当該イベントはその一環である、「アート活動に携わる人/関心のある人が誰でも参加可能な顔の見えるつながり創出の場」を目的とした「アートコミュニティ交流会」、アーティスト・市民・教育研究機関・企業・団体等さまざまな主体と連携した取組として実施いたします。

1 アートコミュニティ交流会～演劇×健康!?アートとウェルビーイングの新しい可能性～

「連続講座：アートで変わる暮らしのシナリオ」（2参照）のプログラムに先駆け、「演劇」「健康」「幸福（ウェルビーイング）」をキーワードとした異分野の専門家3名によるトークセッション（第一部）と、ワークショップを交えた参加者同士の交流（第二部）を行う「アートコミュニティ交流会」を開催します。

【開催概要】

- ・日時：2025年12月14日(日)13:30～16:00（開場13:00）
 - ・場所：川崎市アートセンター3階コラボレーションスペース（麻生区万福寺6-7-1）
 - ・費用：無料
 - ・定員：40名程度（定員超過の場合は抽選）
 - ・申込：こちらの応募フォームから <https://logoform.jp/form/FUQz/1315088>
 - ・主催：川崎市、川崎市アートセンター（川崎市文化財団グループ）、神奈川県立保健福祉大学
 - ・特別協力：東芝ライテック株式会社（機材協力）
- ※市HP <https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000181285.html>

申込フォーム



市HP



《プログラム》

第一部 ゲストによるトークセッション

- ・藤田千史（ふじたちふみ） 川崎市アートセンター小劇場ディレクター
- ・大塚吾郎（おおつかごろう） 麻生区役所地域みまもり支援センター副所長
- ・兪炳匡（ゆうへいきょう） 神奈川県立保健福祉大学・大学院 教授

市民劇団「劇団わが町」など地域の演劇活動に長く携わってきた川崎市アートセンター小劇場の藤田千史ディレクター、市民の健康を見守ってきた麻生区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）副所長も務める大塚吾郎医監、医師/医療経済学者の神奈川県立保健福祉大学・大学院兪炳匡（ゆうへいきょう）教授をゲストに迎

え、「演劇」「幸福」「健康」をキーワードに、異分野の専門家がトークセッションを行います。芸術のまち麻生/長寿のまち麻生のこれまでとこれからについて、来場者のみなさんと一緒に楽しく考えます。

第二部 演劇体験ワークショップ&参加者交流

俞（ゆう）教授のファシリテーションのもと簡単な演劇体験ワークショップを行ったあと、参加者同士の交流を行います。

2 「連続講座：アートで変わる暮らしのシナリオ」

当講座は、神奈川県立保健福祉大学・大学院ヘルスイノベーション研究科俞炳匡（ゆうへいきょう）教授が主催する、参加者自身がロールプレイやシナリオ（脚本）の創作を通じて「食生活の見直し」と「運動習慣の定着」等をめざす、世界でもユニークな参加型ワークショップのプログラムです。プログラムの参加者全員が、グループごとに自らオリジナル脚本づくりに関わり、役者として演じる立場も担い、期間の最後には作品発表会も行います。

【開催概要】

日程：2026年1月11日～2027年1月10日の期間全10回

会場：川崎市アートセンター3階コラボレーションスペース（川崎市麻生区万福寺 6-7-1）

費用：無料

定員：約30名

主催：神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーションスクール（Yoo研究室）

共催：川崎市、川崎市アートセンター（川崎市文化財団グループ）

対象：生活習慣の改善に取り組みたい20歳以上69歳以下の方（演劇未経験歓迎）

応募：下の応募フォームから（※定員を超えた場合は参加者の多様性を考慮して選抜）

https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=clGGs4eYOkUJ_5WjW5L0w5JehZcSnwxvCvQpeH0I5twpUMkoxMjVNV0xQQlpVQ0E5Q1VTR1ZaWEc0Ty4u&route=shorturl

※当プログラムは、神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センターで実施している研究プロジェクト「予防医療教育プログラムの開発と評価」（https://www.kuhs.ac.jp/cip/project/details_01577.html）の一環として実施されます。

応募フォーム



《主催者プロフィール》

俞 炳匡（ゆうへいきょう）Byung-Kwang YOO

MD（医師）、PhD（医療経済学）

早稲田大学・人間科学学術院・健康福祉学科教授

神奈川県立保健福祉大学・大学院ヘルスイノベーション研究科教授（兼任）

〈略歴〉大阪府生まれ。北海道大学医学部卒業後、国立大阪病院で臨床研修。1997年ハーバード大学より修士号、2002年ジョンズ・ホプキンス大学より博士号（PhD、医療経済学）取得後、スタンフォード大学医療政策センター研究員、米国疾病管理予防センター（CDC）エコノミスト、ニューヨーク州ロチェスター大学医学部公衆衛生学科助教授、カリフォルニア大学デービス校医学部公衆衛生学科（終身職）准教授として、医療経済学の研究と教育に従事。25年間の米国在住の後、2020年3月に日本に帰国。2020年4月から神奈川県立保健福祉大学教授。2023年4月より早稲田大学教授。

※研究室HP：https://www.kuhs.ac.jp/shi/laboratory/details_02141.html

研究室 HP



問合せ先

《「アートコミュニティ交流会」について》

川崎市市民文化局市民文化振興室 山本

電話 044-200-2122

《「連続講座：アートで変わる暮らしのシナリオ」について》

神奈川県立保健福祉大学 俞（ゆう）

電話 090-7091-3963

参加者募集中！

アートコミュニティ 交流会

- 演劇×健康!?アートとウェルビーイングの新しい可能性 -

2025年12月14日(日)13:30-16:00 (開場13:00)

会場：川崎市アートセンター3F コラボレーションスペース
(川崎市麻生区万福寺6-7-1)

2026年1月よりスタートするプログラム「連続講座：アートで変わる暮らしのシナリオ」
に先駆け、異分野の専門家が集うアートとウェルビーイングの新しい可能性を巡る
トークセッション&演劇体験ワークショップを交えた交流イベントを開催いたします！

第1部 ゲストによるトークセッション

「演劇」「幸福」「健康」をキーワードに、異分野の専門家がトークセッション！
芸術のまち麻生/長寿のまち麻生のこれまでとこれからについて、来場者のみなさん
と一緒に楽しく考えます。

ゲスト



藤田千史
(川崎市アートセンター
小劇場ディレクター)



大塚吾郎
(麻生区役所地域みまもり
支援センター副所長)



齋炳匡(ゆうへいきょう)
(神奈川県立保健福祉大学
教授)

第2部 演劇体験ワークショップ&交流タイム

齋教授のファシリテーションのもと、演劇体験のワークショップおよび参加者同士の
交流を行います。演劇未経験大歓迎！新鮮な体験と新しいつながりづくりをぜひ♪

無料/要事前申込
(定員40人程度)



お申込み・詳細情報は
市ホームページから！

問合せ

川崎市市民文化局市民文化振興室 (平日8:30~17:00)
TEL: 044-200-3170 / MAIL: 25kw-art@city.kawasaki.jp

主催：川崎市、川崎市アートセンター(川崎市文化財団グループ)、神奈川県立保健福祉大学
特別協力：東芝ライテック株式会社

川崎市では、誰もが身近に文化芸術に触れ、
参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向けて、
アート活動に携わる人/関心のある人が誰でも参加可能な
「アートコミュニティ交流会」を開催しています。

ART FOR ALL
KAWASAKI

KAWASAKI CITY

川崎市アートセンター
kawasaki ART center
公立大学法人
神奈川県立保健福祉大学
Kanagawa University of Human Services

生活習慣を
見直したい方へ

連続講座

アートで 変わる暮らしの シナリオ

✓ ダイエット ✓ 運動習慣 など

ひとりでは続けにくいことを同じ目標をもつ仲間と
アートを創作しながら取り組むワークショップです。

参加費 無料

期 間 全10回 [2026.1.11開始 毎曜日曜日(詳細は裏面)]

場 所 川崎市アートセンター [3階コラボレーションスペース]

対象者 生活習慣の改善に取り組みたい方

主 催 神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーションスクール (Yoo研究室)

共 催 川崎市/川崎市アートセンター



川崎市麻生区万福寺 6-7-1

仲間と一緒にアートを創作しながら、 生活(シナリオ)を変えることを楽しむプログラム

この講座は、参加者自身がロールプレイやシナリオ(脚本)の創作を通して「食生活の見直し」や「運動習慣の定着」等を目指す、世界でもユニークな参加型のワークショップです。

POINT

1

アートの対象としての生活習慣の改善

この講座には、「助言・指導(お説教)」する管理栄養士・保健師・医師はいません。その代わりに、参加者が生活習慣の改善をアートの対象として扱います。

POINT

2

プログラム参加＝作品づくり

プログラムに参加した方たちでオリジナルのシナリオづくりを行います。創作・発表は録画し、最終成果物としてプログラムの最後に上映します。参加した方の同意があれば、一般公開(大学、研究室、NPO法人プランBのホームページ等)される予定です。あなたの作品がこの講座を超えて、多くの人々の健康にも貢献する可能性があります。

開催日程 毎週日曜日 10:00 - 12:00 全10回

※原則として全日程の参加が必須です

	第1回	第2-7回						第8-10回		
グループ1	1/11 2026	1/25	2/8	2/22	3/8	3/22	4/12	7/5	10/4	1/10 2027
グループ2		4/12	4/26	5/10	5/24	6/7	6/21			

※グループ分けは1回目の開催後、1/13までに電子メールにてお知らせします

お申し込み



QRコードまたは下記URLから
<https://forms.office.com/r/LNy3cemv4C>
または ✉ yoobk@waseda.jp
件名「川崎市アート×健康」

締め切り

12/29(月) 17:00

定員

約30名

定員を超えた場合は
参加者の多様性を
考慮して選抜します。

主宰者プロフィール

兪 炳匡 (ゆう へいきょう)

Byung-Kwang YOO, MD(医師), PhD(医療経済学博士)

早稲田大学・人間科学学術院・健康福祉学科教授 / 神奈川県立保健福祉大学・大学院ヘルスイノベーション研究科教授(兼任)

略歴：大阪府生まれ。北海道大学医学部卒業後、国立大阪病院で臨床研修。1997年ハーバード大学より修士号、2002年ジョーンズ・ホプキンス大学より博士号(PhD, 医療経済学)取得後、スタンフォード大学医療政策センター研究員、米国疾病管理予防センター(CDC)エコノミスト、ニューヨーク州ロチェスター大学医学部公衆衛生学科助教授、カリフォルニア大学デービス校医学部公衆衛生学科(終身職)准教授として、医療経済学の研究と教育に従事。25年間の米国在住の後、2020年3月に日本に帰国。2020年4月から神奈川県立保健福祉大学教授。2023年4月より早稲田大学教授。